

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-01-01-15	
事務事業名	子育て家庭応援カード交付事業		根拠法令・要綱等	
事業開始年度	平成18年度～		問合せ先	
総合計画	大項目	基本目標	健康でやさしさあふれるまちづくり	
	中項目	基本施策	やさしさあふれるまちづくり	
	小項目	施策	子育て支援	
	担当課(室)	こども課	職・氏名	子育て支援係長・岡本洋子
	電話	64-1853		

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	妊娠中の方、小学校6学年までの児童を持つ家庭
目的(何のために)	子どもが健やかに生まれ育つ環境作りを推進する。
行政活動(どのような方法で)	岡山県の実施する協賛企業が提供するサービスが受けられる子育て家庭応援カードを交付する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	未来を担う子どもたちの成長や子育てを社会全体で応援していくという意識の高まりやこどもの生み育てやすい環境づくりを促進できる。

事業の実績						
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	新規カード交付枚数	枚	-	951	185	
	事業費	直接事業費			0	0
		人件費	千円		1,235	75
		事業費計		0	1,235	75
	財源	国県支出金				
受益者負担		千円				
一般財源			0	1,235	75	
	必要人員	人		0.20	0.02	
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	カード交付枚数	枚		951	185	
	結果指標量	枚				
	対前年比	%		-	19.5%	
	活動コスト	円		1,235,000	75,000	
結果指標	結果指標量	人				
	対前年比	%		-		
	活動コスト	円				
	単位当たりコスト	円		1	0	

事業の成果			
成果指標名	カード交付枚数	式又は説明	カード交付枚数
	17年度		18年度
成果指標量			951.00
対前年比			185
			19.45%
到達目標値	1100枚	到達目標年度	21年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	妥当性評価<A-E>
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	C
対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある		課題認識
	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要はない		岡山県が企業や市町村との連携・協働により実施する子育て家庭応援カード事業は社会全体で子どもたちの成長や子育てを応援していくという意識の高まりに繋がりが、備前市にとっても子育てをしやすく環境づくりに繋がることから協働で実施すべき事業である。
行政活動	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
	<input type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である		
市の関与	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		効率性評価<A-E>
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい		D
効率性の評価	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		課題認識
	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		保育園、幼稚園、小学校等と連携を図りながらカードの交付を促進できる。
職	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである		有効性評価<A-E>
	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		C
	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		課題認識
	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		市広報誌等で周知しているが最近では交付数が減少している。今後はHPとうの活用や対象者が集まる機会にカードのメリット等制度のお知らせし交付を促進する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況		説明	平成18年10月から実施 子育て家庭応援カード(ももっカード)は、協賛店で提示することで色々なサービスが受けられる便利なカード。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で真正・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 185	結果指標量	75.00

総合評価		評価区分<A-E>	B
子どもを生み育てやすい環境づくりに繋がる事業であり、広くカードが行き渡るよう対象者が集まる機会等を利用して周知に努めることが必要である。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で真正・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	広報誌の活用や対象者が集まる機会を利用してし周知に努めることが必要である。	毎年	カード交付世帯の増加